

党市議団が研修会 「LGBT、性的マイノリティについての基礎知識」



党議員団は、6月11日、「LGBT基礎知識&自治体に何を求めるか」と題して、他会派にも呼びかけ研修会を開催しました。

各種調査で、LGBTの人は人口の5%との推計が出ています。しかし、この問題についての理解が進んでおらず、カミングアウトしたとたんにバッシングを受けかねないような社会構造になっており、潜在的で、

多様な性の在り方を認め合う社会ほど、個人の尊厳が大事にされ暮らしやすい社会になります。そこで、今回の研修会は「まず市議団が基本的な認識を身につけよう」と企画したものです。

研修会では、トランスジェンダ



講義する大野さん

である事をカミングアウトした大野雅明みやびさんを講師に迎え、大野さん自らの体験を交えて当事者の立場から性的マイノリティが置かれている現状や、自治体への要望について学びました。

LGBTはレズビアン（女性同性愛）、ゲイ（男性同性愛）、バイセクシャル（両性愛）、トランスジェンダー（心と体の生が一致しない人）の頭文字で、性的少数者の総称です。最近では異性愛者の人も区別せず、全ての人の多様な性的指向（SO）、性自認（GI）を認め合おうという意味でSOGI（ソジ）という言葉も使われます。

党議員団は、3月の定例会で同性パートナーシップ制度の導入を提案しています。

議会エピソード 16

今回の選挙で、れいわ新撰組に重度心身障害を持つ参議院議員2人が誕生した。臨時国会開会にむけ急ピッチで参議院のバリアフリー化が進められている。ところが、この国の福祉サービスは、障害者が働くためには使えない。登院も議会活動も介助なしにできない2人は、早急な対応を求めている。国会開会までに回答が出るはずだが、国会議員特例ではなく制度自体を改善する契機になれば良いと思いつつ、見守っている。

伊勢崎市議会の車椅子議員・T氏も、やはり議員活動には福祉サービスが使えない。恥ずかしながら、昨年、T氏に「映画を観に行きたいといえば、対象なんですよ。」と言われて、改めて制度の不備を知らされた。伊勢崎市議会は、委員会視察には最初からつけた公費の介助者を、今年度は会派視察にも可能にした。まだるっこしいが、一歩、一歩進むしかない。「合理的配慮」をすべき当事者に、国もやっとなったのだ。（K）

無料法律生活相談会

毎月第4月曜日午後6時より
弁護士と市議が同席します
お申し込みは下記市議まで



北島 元雄

24-8410
090-4065-2120
波志江町3626



長谷田 公子

25-1130
070-5564-6271
八幡町44